

十二月二十二日耐寒クラスマッチが行われた。新型コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれたが、本校と志布志市体育館の二会場で無事に開催することができた。さて、今

耐寒クラスマッチ

今回のクラスマッチは今年度初回の開催ということもあり、気合の入ったクラスが多く見られた。2、3年生は先輩の意地を、1年生はその先輩たちに必死に食らいつく姿が印象的で、時には真剣に、時には笑いありの、大いに盛り上がった耐寒クラスマッチとなつた。



【結果】バスケットボール優勝（男子の部）建3／（女子の部）看3／ドッジボール優勝（女子の部）普3／卓球優勝（男子の部）普1／（女子の部）特2／バレーボール優勝（男子の部）普2／サッカー優勝（男子の部）商3



パシフィックステイバル2020

コロナ禍での文化祭



十一月二十日、文化祭「パシフィックステイバル2020」が行われた。今年の文化祭は、新型コロナウイルス感染対策をしながら、いつもとは違つたかたちで開催。鑑賞は学年ごとにわかれ、教室からはオンラインで体育館のステージを楽しんだ。始まりは吹奏楽

部の演奏。学級でのステージ発表や展示に個人発表のダンスやバンド演奏。そして、軽音楽同好会の演奏と、盛りだくさんの内容。コロナ禍で様々な苦労を強いられたが、その分より一層思い出に残る文化祭となつたのではないか。

今回の文化祭は飛沫対策のためステージ前面にフィルムを張つたかたちでの実施となつた。しかし、様々な制限の中でも、各クラス工夫を凝らして発表を行つていた。また、発表だけではなく展示も短い準備期間の中、見ごたえのある大作がいくつも姿を見せた。

特に、三年生の発表・展示はダンスや歌、お化け屋敷などどれも完成度が高く、三年生

の文化祭に対する熱い思いを感じることができた。さらに生徒たちだけでなく、先生方のいつもとは違う一面も見られた。先生方にどつても充実した文化祭になつたように思える。来年このようになるかはわからないが、より一層楽しい文化祭になることを願う。

モザイクアート 建設工業科一年生展示



『オタフクのやべえ奴ら』よりオタ芸

野球部一年生大会ベスト4達成

野球部一年生の本田雅俊さんに意気込みを語ってもらいました。

今年の一年生大会は史上初のベスト4を目指し練習に取り組んできました。練習試合では順調に勝ち続け、県大会に向けて自信をつけていくことが出来ました。二年生の先輩方もサポートをしてください質の高い練習が行えました。その結果、目標にしていたベスト4を達成できました。今後の大会で鹿実、神村に勝てるよう日々鍛錬していきたいと思います。目指せ甲子園！



新生徒会長より

みなさんあけましておめでとうございます！新生徒会長の柿元仁成です。気軽に「なり」や「パンダ」と呼んでください！昨年は新型コロナウイルス感染症の関係で文化祭やクラスマッチを例年通りの形で開催することができませんでした。しかし、みなさんのご協力のおかげで無事終えることができました。これらのイベントを運営するは大変でしたが、成功したときの達成感もその分すごく大きかったです。今年も生徒会メンバー全員で一丸となつてがんばりますので、応援よろしくお願いします。

編集後記

新生徒会となり今回が第一号。新聞名は昨年の「インスピタイムズ」を引き継ぐ。改めて名前の由来を紹介したい。尚志館高校の校訓「不屈不撓」なじみ深い言葉である。これを英語にすると、「インドミタブルスピリット」略して「インスピ」となる。これから読者の皆さんのが楽しんでもらえるような新聞づくりに励みたい。